

## ふくしまキッズ参加説明会無事に終了しました。

委員長進士（ぼんた）です。

本日はふくしまキッズ参加説明会開催でした。  
今日のために、北海道：ねおすの上田さん 三浦：オーシャンファミリーの海野さん 信州塩尻：教育支援協会長野の芝野さん 飛騨高山：教育支援協会愛知の西尾さんが駆けつけてくれました。  
受け入れてくれるために、多くの方とつながり、ふくしまキッズの活動のより充実した活動にする為に尽力してくれています。ありがたい事です。



参加してくれる子ども達は、春=171人  
そのほとんどが、夏の冬の活動の参加経験のある子ども達です  
会場の雰囲気も落ち着いていました。はじめて参加する子どもそして親御さんには、経験した子どもから、親御さんからメッセージを頂きました。夏の時は、不安の心が交差していました。子どももホームシックになったり・・・でも子どもの成長をたくさん感じ取ることが出来ます。それは毎回感じます。今は安心して送り出しています。  
親御さんも長期の休みの際には、放射線の心配のないところで元気を取り戻して欲しい・・・という気持ちが強いです。  
子ども達も、ふくしまキッズを楽しみにしていることが分かりました。



郡山会場は、会場いっぱいになるほどの参加でした。  
福島会場は、会場が広いということもありますが、郡山6：福島4の割合でした。  
いずれにしても、当日を迎えるまでのお願いと、現地に行った際の詳細を共通認識していただきました。私からは、親書を書いてください。その親書の意味合いも・・・  
子ども達には品格を持った青年に育てて欲しい・・・人をゆるせる大人になって欲しい・・・そんな願いがふくしまキッズにはあります・・・と

そして夏の予告もさせてもらいました夏の規模は1000人です。そのためには、支援金を募ると同時に、社会にもふくしまキッズの活動が認知されるための様々なメッセージを伝え続けなければならない事。

説明会、会場に到着するまで、『ぼんたのこれからの役目は何かな・・・』と思ったときに「つなぎ人」なんだなあと感じました。人と人をつなぐ・地域と地域をつなぐ・心と心をつなぐ・・・「アロンアルファぼんた」ですね。

今日は、3, 11震災から1年が経ちました。  
福島の現状は、復興といわれていますが、私の感じからは復興という



福島の子どもの笑顔と元気な顔プログラム  
**福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会**

言葉は当てはまりません。私の印象は迷走福島・・・です。しかしその中でも、希望の光を灯す人もいます。元のように安心安全の福島に戻そうと一生懸命の人達もいるのです。

“希望をあきらめない” “つながる事” “子どもを応援すること”

経済成長から区切りを付けて、福島県独自の価値観を世界に発信するくらいの思いきった施策が必要なのではないでしょうか・・・

希望をあきらめない『つなぎ人』でありたいと思います。

20120311 進士委員長 ブログより

